

2019年度コミュニティソーシャルワーク事業 実績報告書

1. 総合的福祉相談（詳細は別紙）

	31年度	30年度
個別相談支援（延べ件数）	8,667 件	7,517 件

（1）個別相談支援

[相談方法]

	31年度 (延べ件数)	30年度 (延べ件数)
電 話	4,527 件	3,637 件
訪 問	992 件	1,075 件
来 所	1,054 件	898 件
出先にて	821 件	1,004 件
相 談 会	99 件	131 件
そ の 他	1,174 件	772 件
合 計	8,667 件	7,517 件

[対象者]

	31年度 (延べ件数)	30年度 (延べ件数)
0～9 歳	23 件	89 件
10～19 歳	130 件	185 件
20～29 歳	160 件	228 件
30～39 歳	421 件	328 件
40～49 歳	1,011 件	1,010 件
50～59 歳	970 件	711 件
60～64 歳	301 件	457 件
65～74 歳	828 件	894 件
75 歳以上	2,380 件	1,735 件
年齢不明	884 件	733 件
団体等	1,559 件	1,147 件
合計	8,667 件	7,517 件

[相談内容] ※重複あり

内 容	件数	内 容	件数
協同・コミュニティ	2,871 件	安心・安全・防災	291 件
健康・医療	1,907 件	成年後見・遺言・相続・保証人	253 件
介護・介護予防	1,344 件	届出・証明	162 件
住まい	1,072 件	税・保険・年金	160 件
ゴミ・リサイクル	597 件	消費生活・環境・動物	132 件
近隣トラブル	503 件	介入拒否・孤立	64 件
収入・生活費・債務	469 件	虐待	35 件
仕事・就労支援	444 件	生涯学習・日本語学習	29 件
ひきこもり	371 件	宗教関係	10 件
子育て・教育	361 件	ホームレス	3 件
家族トラブル	296 件	その他	134 件
		合 計	11,508 件

(2) 相談会の開催

	31 年度		30 年度	
	回数	相談者件数	回数	相談者件数
暮らしの何でも相談会	267 回	86 件	299 回	121 件

※区民ひろば 21 か所、その他集会室等 3 か所において開催

※3月の相談会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止

2. 地域支援活動（地域を元気にする活動）

(1) 要援護家庭等の子どもへの学習支援活動

【回数・参加者人数】

学習会名	ちゅうりっぷ	にじいろ	あおぞら	合計
開催回数 (回)	16	7	25	48
参加者 延人数 (名)	子ども 200 ボランティア等 195 小 計 395	205 130 260	469 214 683	874 539 1,338

【対象】

ちゅうりっぷ学習会（東部地域）、にじいろ学習会（西部地域）、あおぞら学習会（西部地域）

※ちゅうりっぷ学習会は、学習支援ボランティア（チーム「つばめ」）が主体となって

企画運営を実施。定期的に打ち合わせ会を開催

【会場】

小学校、区民ひろば、区民集会室、高齢者福祉施設会議室などを使用

【連携・協力した機関等】

小学校、区民ひろば、子どもスキップ、民生児童委員協議会、青少年育成委員会、大学、子ども食堂、地域福祉サポーター、生活福祉課、地域住民 など

(2) 大正大学社会福祉学科サービスラーニング（体験教育）への協力

○テーマ サービスラーニングを通して、コミュニティソーシャルワークについて考える

CSW 圏域	会場	内容	参加者数
東部	区民ひろば南大塚	<ul style="list-style-type: none"> ・区民ひろばプログラムへの参加 ・区民ひろば事業活動への協力 ・CSW事業活動参画 ・区民ミーティング参加など 	<p style="text-align: center;">87名</p> <p style="text-align: center;">※4クラスが各圏域にわかれて活動</p>
いけよんの郷	区民ひろば池袋		
アトリエ村	区民ひろば富士見台		
西部	区民ひろば千早		

※サービスラーニングについて

1980年からアメリカで始まった教育活動の一つであり「社会活動を通して市民性を育む学習」。地域への貢献を育み、地域の結びつきを強化するもの。

(3) 学びあい・支えあいの地域活動

地域住民や民生児童委員、町会・自治会、福祉関係団体等が、小地域でネットワークを構築して、地域課題の共有や、解決に向けた取り組みを行うなど、共に学びあい・支えあう活動を展開した。

①しゃべり場朋有（中央圏域）

目的	区民ひろば朋有運営協議会と社協CSWが協働し、住民同士の話し合い、学び合いの場を設け、世代間交流や顔の見える関係づくりを行う。
内容	<p><第1回>テーマ「知って得する！困った時の豊島区のサービス」 社協のDVDを見て、CSW、中央高齢者総合相談センター、リボンサービス、サポートとしま、それぞれの事業を紹介、グループで意見交換</p> <p><第2回>テーマ「母に振り込むバラード（出前講座）」 豊島区消費啓員の方の詐欺被害に遭わないためのワンポイント講座「母に振り込むバラード」寄席を鑑賞、グループで意見交換</p> <p><第3回>テーマ「災害から自分を守ろう！ ～台風19号とこれからの新たな災害を見据えて～」 豊島区防災危機管理課の方の話、グループで意見交換</p>
関係機関・連携	区民ひろば朋有、メロス言語学院、中央高齢者総合相談センター、サポートとしま、リボンサービス、地域福祉サポーター
実績	日時：年3回 会場：区民ひろば朋有 回数：3回 参加者数：115名

②きんぎょサロン（中央圏域）

目的	年齢・性別・国籍などに関係なく、どなたでも参加できる地域の居場所として位置づける。参加者が、特技を生かし活躍できる社会参加の場・社会貢献の場として、生きがいつくりの一助を担う。
内容	エプロン、袋物作成、編み物などの手仕事、切手整理、ベルマーク活動など。製品はフリーマーケット等で販売し、収益は子どもの活動（NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク）に寄付。切手は豊島ボランティアセンター、ベルマークはあいおいニッセイ同和損保株式会社を通じて、地域に還元。CSW、区民ひろばの職員もサロンに参加し、随時相談支援も行える体制をとっている。
関係機関・連携	区民ひろば上池袋、NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク、三寿会（高齢者クラブ）、高齢者総合相談センター、くらし・しごと相談支援センター、豊島ボランティアセンター、あいおいニッセイ同和損保
実績	日時：毎週水曜日 14 時～16 時 会場：区民ひろば上池袋 回数：45 回 参加者数：430 名

③麦の家やってみる会（中央圏域）

目的	地域住民が「麦の家」に集い、利用者・地域住民と一緒に制作した看板の補修や様々なものづくり、麦の家の作業手伝い等を行う。また、活動する中で地域住民と利用者の交流を図り、障害のある方への理解を促すとともに、地域共生社会の実現を目指す。
内容	流しそうめん、としまる体操、ドライフルーツ作り、手作りランチ会、作業のお手伝いなどを行った。
関係機関・連携	民生児童委員、地域福祉サポーター
実績	日時：不定期（月 1 回程度） 会場：地域活動支援センター麦の家 回数：7 回 参加者数：56 名

④歴史マップ委員会（豊島区医師会圏域）

目的	地域住民と学校、社協 CSW が共同し、地域の歴史に関して地域住民同士の学びあいの場を設け、世代間交流や顔の見える関係づくりを行う。併せて、子どもたちが自分の住んでいる街の歴史を知ることにより、地域への関心を持つ機会を創出する。
内容	毎年 1 月に、池袋第三小学校 3 年生の地域授業科目にて開催。区民ミーティングをきっかけに作成された「歴史マップ」を用いて、小学校周辺の今と昔を写真の比較で分かりやすく説明することで、児童に地域に関心を持ってもらう機会としている。司会、講師は長年地域に住んでいる地域住民が担っている。
関係機関・連携	池袋第三小学校、民生委員・児童委員、町会、地域福祉サポーター
実績	日時：毎年 1 月 第 3 火曜日 14 時 30 分～15 時 15 分 会場：子どもスキップ池袋第三 会議室 回数：1 回 参加者数：88 名 協力者数：12 名

⑤ふれあいグループ（いけよんの郷圏域）

目的	主に池袋本町に住んでいる高齢者を元気付けるためのボランティア活動を企画・実施することを目的としている。池袋中学校の生徒と協力し、引きこもりがちな高齢者の見守りや外出機会を創出する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会を毎月1回開催し、中学生との見守り活動に関する話し合いや、高齢者を取り巻く現状について学ぶ。高齢者に限らず、池袋本町内の課題についても話し合う。 ・池袋中学校の学生と連携し、学校のイベント（学習発表会など）を地域住民周知するため、チラシを学生自ら作成し、学区内の家庭に配布する。 ・池袋中学生と共に、地域住民を招いた茶話会を実施する。茶話会の開催にあたり、中学生と企画会を開く。
関係機関 ・連携	高齢者総合相談センター（中央・いけよんの郷）
実績	日時：月1回程度 19時～20時30分 会場：池袋本町コミュニティセンター隣 回数：8回 参加者数：91名 協力者数：216名

⑥池袋本町一丁目町会地域見守り検討会（いけよんの郷圏域）

目的	子どもから高齢者までの誰もが安心安全に暮らせる町会を目指す。全世帯を町会員と認識し、地域から孤立を防ぐ支援を「きずなサロン」を軸にじっくり継続的に行う。地域福祉活動を行っている関係者がお互いに横のつながりを持ち、連携・協働し、地域の実状に合った「支えあい」のしくみを作る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「見守り対象者名簿」と「見守りマップ」を作成し、半年に1回を目途に情報交換を行いながら名簿の更新を行う。 ・メンバーが担当地域を持ち、「きずなサロン」のチラシを配布する。ポストにただ投函するのではなく、直接手渡しすることを大切にしている。 ・地域課題について話し合う。 ・「きずなサロン」の運営について話し合う。
関係機関 ・連携	高齢者福祉課、高齢者総合相談センター
実績	日時：偶数月の第3土曜日 10時～12時 会場：池袋本町第2区民集会室 回数：6回 参加者数：95名

⑦集合住宅における茶話会（アトリエ村圏域）

目的	マンションに暮らす高齢者（特に一人暮らし）を中心に参加を呼び掛け、閉じこもりや孤立を防ぎ、住民同士の交流を通して居場所や仲間づくりの場とする。また、必要に応じてマンション住民以外の地域住民も受け入れることで、マンションと地域の住民間の交流を図る。区民ひろばを開催場所とすることで、地域に出るきっかけづくりとする。
内容	お茶を飲みながら話をしたり、折り紙や手芸、座ってできる体操などを行う。
関係機関・連携	高齢者総合相談センター見守り支援事業担当、区民ひろば富士見台
実績	日時：毎月第4木曜日 13時30分～14時30分 会場：区民ひろば富士見台 回数：10回 参加者数：45名 協力者数：30名

⑧地域貢献検討会議（小地域福祉活動ネットワーク会議）（西部圏域）

目的	概ね小学校区を基本とした小地域ネットワークを構築し、地域活動や課題の情報共有を行い、日々顔の見える関係を築くことを目的とする。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 千川の杜（高齢者施設）を地域の拠点と捉えて、小地域におけるの地域活動や地域生活課題の情報共有を行う 参加者の思いや地域生活課題を通じて具体的な提案が挙げた場合は、その都度、部会等を立ち上げて、企画検討していく
関係機関・連携	千川の杜、民生委員・児童委員、地域福祉サポーター、地域住民、高齢者総合相談センター、区民ひろば千早、在宅医療相談窓口
実績	日時：3か月に1回 第4火曜日 10時～12時 会場：千川の杜地域交流スペース 回数：4回 参加者数：42名

(4) サロン活動等の立ち上げ・運営支援

地域住民が中心となって実施している、もしくはこれから実施したいと考えているサロン活動等の地域活動について、CSW が立ち上げや運営の支援を行った。

①きずなサロン（いけよんの郷圏域）

目的	「池袋本町一丁目町会に住む方々のきずなが深まれば」という願いを込めて開催されている。町会加入に関わらず参加が可能とし、サロンを通して地域が一体となり安心・安全な生活ができることを目的としている。
内容	昔懐かしい映画鑑賞会、楽器演奏や歌の披露、地域のコーラス、マジック・落語家等をゲストに呼び、毎回工夫を凝らした出し物を行っている。また、輪投げ、ボッチャ等、体を動かすプログラムも意識的に取り入れている。開始前には季節の歌を一曲歌い、としまる体操を必ず取り入れている。今年度は新しくできた池袋ほんちょうの郷の地域交流スペースにて2回ほど実施し、施設見学も開催された。季節に合わせた茶菓子（桜もちやおしるこなど）をメンバーが準備し、お茶を飲みながら、参加者同士、または参加者とメンバーで交流を深めている。見守り検討会のメンバーが、参加者の送迎をするなど、一人でも多く参加できるよう工夫している。
協力者	高齢者福祉課、高齢者総合相談センター
実績	日時：偶数月の第3土曜日 13時～15時 会場：池袋本町第二区民集会室、池袋ほんちょうの郷地域交流スペース 回数：6回 参加者数：82名 協力者数：90名

(5) 個別及び地域課題の把握のための活動

CSW が、個別及び地域課題の把握や、地域住民同士の顔の見える関係づくりなどを目的として、茶話会等を実施した。

①茶かもん会（菊かおる園圏域）

目的	日ごろちょっと気になる話題などを、昔ながらの井戸端会議のようにお茶を飲みながら、堅苦しくない雰囲気ですることにより、情報交換を行うとともに、お互いが顔の見える関係を築き、地域力向上につなげる。
内容	地域住民の身近な課題をテーマとして設定し、関係機関や組織内職員あるいは地域住民などに講師を依頼して、終了後に茶話会を行う。参加者が、テーマについてのみならず、日ごろから気になっていること等を気軽に話せる場としている。 第1回：和食のマナーと箸づかい（民生児童委員によるマナー講座） 第2回：下田さんと小木曾さんに聞いてみよう（介護予防リーダーによる尺八演奏）
関係機関・連携	高齢者総合相談センター、区民ひろば西巣鴨、民生委員・児童委員、地域福祉サポーター、地域住民
実績	日時：年2回（日時はその都度調整） 会場：区民ひろば西巣鴨第一 回数：2回 参加者数：41名 協力者数：8名

②おおつか茶かもん（東部圏域）

目的	生活に役立つことをテーマにした茶話会を区民ひろばで開催することで、今まで区民ひろばを利用しなかった層に働きかけ、地域住民同士の顔と顔の見える関係作りを目指す。
内容	毎回生活に役立つことをテーマにして、講師に分かりやすく伝えてもらい、お茶を飲みながら参加者同士の交流を図る。 第1回～第3回 「歌ってたのしい手話講座」（大正大学手話サークル Pocky）
関係機関・連携	区民ひろば南大塚、大正大学手話サークル Pocky
実績	日時：不定期（日時はその都度調整） 会場：区民ひろば南大塚 回数：3回 参加者数：23名 協力者数：7名

(6) 「学生出前定期便」への支援（菊かおる園圏域）

- ・大正大学学生によるボランティア活動『学生出前定期便』について、相談者からの申込受付を CSW が行い、活動を通して利用者の生活状況やニーズを把握、必要に応じて関係機関へつなぐ。行政によるサービスに抵抗感を示す住民へのアプローチなど、個別訪問が難しかった支援対象者の実態把握を行うことができた。
- ・活動地域の都営住宅の建替えに伴い、通常の活動時から高齢者や障がい者世帯などを中心に、粗大ごみの搬出ができないという依頼が多くなっていた。関係機関と調整を行うが、既存の仕組みでは対応が難しいニーズであったため、大正大学の協力により学生ボランティアを募り、「臨時便」として 1 日かけて粗大ごみの搬出作業を実施した。当日は、地域のボランティアや高齢者総合相談センター見守り支援事業担当職員、民生委員・児童委員（昼食提供）も参加した。
- ・活動の PR と住民と学生の交流を目的として、サロンを実施した。

【定期便】

活動日時	活動範囲	活動内容	活動件数 (延べ)	活動者数 (延べ)
木曜日 11 時～12 時 30 分 金曜日 13 時～16 時	大正大学周辺	概ね 30 分程度で行える作業 ・粗大ごみの搬出 ・草むしり ・電球の取り換え ・話し相手 等	81 件	183 名

【臨時便】

活動日時	活動場所	活動内容	活動件数	活動者数
5 月 18 日（土）	都営西巢鴨二丁目アパート	都営住宅建て替えに伴う転居に向けた粗大ごみの搬出作業	25 件	37 名

【サロン】

会場	回数	参加者数	参加者属性
都営北大塚一丁目 アパート集会室	1 回	29 名	地域住民、学生、高齢者総合相談センター職員 など

(7) 豊島区生活支援体制整備事業との連携

①としまベンチプロジェクト@高田（ふくろの杜圏域）

目的	地域にベンチを置くことで、高齢者等の引きこもりを防ぎ、交流が生まれ、誰もが外出しやすいまちになる。地域住民や関係機関、街のお店、企業、行政などが協働で取り組むことで、つながりのある地域づくりをすすめる。
内容	①地域の特性を民生委員からヒアリング ②専門学校生と地域住民がまち歩きでまちを点検 ③地域住民、関係機関等でプロジェクトを運営 ④高齢者や親子などにベンチに関するアンケートを実施 ⑤ベンチの修理と設置
関係機関・連携	地域のささえあいの仕組みづくり協議会、高田地区民生委員児童委員協議会、町会関係者（高田一丁目町会、高田中央町会、高田三丁目町会、東目白自治会、東目白坂下睦会）、日本福祉教育専門学校、ふくろうの杜高齢者総合相談センター、高田介護予防センター、池袋敬心苑、豊島区高齢者福祉課、生活支援コーディネーター（第1層）
実績	日時：不定期 会場：区民ひろば高南（第一・第二）、日本福祉教育専門学校、町会会館、屋外ほか 回数：9回 参加者数：182名

②地域資源（Ayamu）プロジェクトチームへの参画（全圏域）

目的	豊島区生活支援体制整備事業にて導入している地域資源データベースシステム「Ayamu」について、運用方法について関係機関で協議を行い、システムの利用を推進することにより、地域資源の有効活用を図ることを目的とする。
内容	①Ayamu の運用に関すること（登録する情報やカテゴリ、情報の使用承諾、ルール等） ②Ayamu の活用状況等の情報交換 ③情報の定期更新
関係機関・連携	高齢者総合相談センター見守り支援事業担当、豊島区高齢者福祉課、生活支援コーディネーター（第1層）
実績	日時：年4回 会場：豊島区役所内会議室 回数：4回

3. 地域福祉サポーターの養成及び活動の推進

(1) 登録者

登録者数：個人 302 名 法人 1 団体（684 名）

【属性】

個人：一般区民、大学生、元民生児童委員、ハンディキャブ利用会員、金融機関職員、NPO 法人職員、弁護士、司法書士、社会福祉士、看護師、税理士、ファイナンシャルプランナー、ケアマネジャー、僧侶 など

法人：生命保険会社

【個人登録者 性別・年代】 最年少：22 歳 最高齢：89 歳 平均年齢：約 62 歳

性別 年代	男	女	計	割合
10 代	0 名	0 名	0 名	0%
20 代	2 名	4 名	6 名	2.0%
30 代	10 名	3 名	13 名	4.3%
40 代	15 名	13 名	28 名	9.3%
50 代	22 名	35 名	57 名	18.9%
60 代	44 名	46 名	90 名	29.8%
70 代	31 名	54 名	85 名	28.1%
80 代	5 名	18 名	23 名	7.6%
計	129 名	173 名	302 名	100%
割合	42.7%	57.3%	100%	

(2) スタート研修

実施回数：個人向け 5 回（その他、随時実施） 法人向け 3 回

登録者数：個人 13 名 法人 75 名

内容：①講義：豊島区の現状と課題、地域福祉サポーターについて など

講師：豊島区民社会福祉協議会 職員

②グループワーク「私たちが暮らすまちの中で起きている生活課題」

③連絡事項

※本年度途中より、研修カリキュラムを変更した上で、説明会を行わずスタート研修のみとした。

また、回数を増やし、より身近な地域で受講ができるように区民ひろば等で実施した。

ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3 月に実施予定であった研修は中止した。

(3) テーマ別学習会

実施回数：3回

延べ参加者数：99名

内容：テーマ別の講義、グループワーク 他

1	開催日時	令和元年8月2日(金) 14:00~16:00
	会場	上池袋コミュニティセンター 多目的ルーム
	テーマ	誰もが安心して暮らせる地域を目指して～視覚障がいを持つ方の視点から～
	講師	豊島区身体障害者福祉協会副会長 小宮山 芳人氏
	参加者数	23名
2	開催日時	令和2年1月23日(木) 14:00~16:00
	会場	区民ひろば清和第一
	テーマ	誰もが安心して暮らせる地域を目指して～「ひきこもり」の理解と支援～
	講師	NPO法人楽の会リーラ 事務局長 市川 乙充氏
	参加者数	28名
3	開催日時	令和2年2月4日(火) 14:00~16:00
	会場	区民ひろば千早
	テーマ	誰もが安心して暮らせる地域を目指して～「ひきこもり」の理解と支援～
	講師	NPO法人楽の会リーラ 事務局長 市川 乙充氏
	参加者数	48名

(4) 圏域ごとの交流会

サポーター活動に関する情報交換などを行い、身近な地域（CSW圏域単位）で地域福祉サポーター同士の交流を深めた。また、隣接圏域単位（ユニット）でも実施した。

実施回数：6回

延べ参加者数：48名

内容：地域福祉サポーター活動に関する意見交換、交流 他

CSW 圏域	回数	延べ参加者数
菊かおる園	1回	12名（男5名、女2名）
東部	1回	12名（男5名、女2名）
中央	1回	5名（男2名、女3名）
ふくろうの杜	1回	5名（男2名、女3名）
豊島区医師会	—	—
いけよんの郷	—	—
アトリエ村	1回	7名（男6名、女1名）
西部	1回	7名（男5名、女2名）
合計	6回	48名（男25名、女13名）

※豊島区医師会及びいけよんの郷圏域については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4. 「福祉なんでも相談窓口地区連絡会」の開催

区内の25社会福祉法人の連携による「福祉なんでも相談窓口」事業において、窓口設置法人と8地区ごとに連絡会を実施。事業実施状況の確認の他、地域課題に関する情報交換などを行い、潜在的なニーズの掘り起こしや多職種・多機関のネットワークづくりを行った。

実施回数：16回

延べ参加者数：105名（内、社協職員44名）

内容：「福祉何でも相談窓口」実施状況・意見交換、地域課題等に関する情報交換 他

地区	会場 (第1回/第2回)	回数	出席者数 (内、社協職員数)
菊かおる園	区民ひろば西巣鴨第一/菊かおる園	2回	8名(4名)
東部	区民ひろば南大塚/駒込福祉作業所	2回	11名(6名)
中央	東池袋桑の実園/こかげ	2回	12名(6名)
ふくろうの杜	山吹の里/池袋敬心苑	2回	16名(6名)
豊島区医師会	西池袋第二区民集会室/区民ひろば西池袋	2回	12名(5名)
いけよんの郷	池袋ほんちょうの郷/いけぶくろ茜の里	2回	16名(5名)
アトリエ村	長崎いずみの郷/愛の家ファミリーホーム	2回	16名(5名)
西部	区民ひろば千早/千早子どもの家保育園	2回	14名(7名)
合計		16回	105名(44名)

6. 地域アセスメント及び地域情報の発信

地域の実態把握、社会資源調査・ヒアリングの実施、関係機関との連携・協議を行い、地域課題の把握、新たなしくみづくり等の検討、地域支援活動を展開した。

また、区内で行われている集いの場やサロン活動、活動者について取材を行い、「トモニーつうしん特集号」等を作成した。

【トモニーつうしん特集号】

発行日：令和2年3月27日

装丁：タブロイド判、カラー、4ページ

発行部数：85,000部

配布方法：新聞折り込み、区民ひろば等各窓口など

MAP掲載団体／171団体

7. コミュニティソーシャルワーク活動紹介冊子の作成

豊島区におけるコミュニティソーシャルワーク実践を、地域住民や関係者に分かりやすく紹介するために、実際の活動事例や実績などをまとめた冊子を作成、配布した。

発行日：令和元年10月

発行部数：3,000部

配布先：地域住民、民生児童委員、区民ひろば、区関係部署、福祉関係団体など

8. CSW スーパービジョン体制の充実

コミュニティソーシャルワーク実践の質の向上を図るために、スーパーバイザー（学識経験者2名）によるスーパービジョンを受けた。また、職員間で実践上の課題共有や、解決策の検討などを行った。

スーパーバイザー会議：2回

CSW 会議：12回

事例検討会議：11回